



・**VMTH の近況** VMTH では、今年からアジア獣医内科専門医協会(AiCVIM)のレジデント教育が始まり、アジア専門医資格が取得可能になりました。また、コロナ禍で中断していた VMTH 公開セミナーも再開し、新たに企業連携による外部講師を招いた卒業教育セミナーも開催中ですので奮ってご参加ください。来年度には獣医師会の四国地区学会が岡山理科大学を会場に開催され、その前日には獣医師・愛玩動物看護師向けセミナーや市民公開講座を企画しておりますので、どうぞご期待ください。(病院長 星 史雄)

VMTH NEWS

・**教職員／学生の受賞**: 2024 年 7 月に開催された日本獣医がん学会で、小林宏祐助教が「膵臓外分泌腺癌に随伴して被嚢性腹膜硬化症を認めた猫の 1 例」のポスター発表で奨励賞を受賞しました。また、2024 年 9 月には、日本動物看護学会第 33 回大会で獣医保健看護学科 4 年大久保明梨さんが「小動物用呼吸数・呼吸測定デバイスの開発と測定精度の検討」というテーマでポスター発表を行い、奨励賞を受賞しました。(TS)



・**獣医学科卒業論文発表会**: 9 月 28 日に獣医学科 6 年生の卒業論文発表会が行われ、学生たちが日頃の研究成果を発表しました。医獣連携分野では、最優秀発表者賞に櫛笥悠人さん(写真)が、優秀発表者賞に小川晴代さん、日高大地さんの 2 名が選ばれました。(TS)



・**麻酔認定医に 2 名が合格!**: VMTH 麻酔科に所属する辻 可奈子先生と朱 夏希先生が、日本獣医麻酔外科学会の動物麻酔基礎技能認定医に合格しました! 先立って動物麻酔技能認定医(みなし認定医)となっていた私を含めると、計 3 名の認定医が所属する施設となります。新たな認定医たちの活躍を大いに期待します。(神田鉄平)



・**第一種放射線取扱主任者試験に合格!**: VMTH の画像診断科や腫瘍科、麻酔科などで幅広くご活躍されている吉竹涼平先生が、この度、難関の第一種放射線取扱主任者の試験に合格されました。画像診断体制の強化により、2 次診療施設として、地域獣医療へのさらなる貢献が期待されます。吉竹先生のますますのご活躍を祈念いたします。(朱夏希)

・**第 12 回 VMTH 公開セミナー**: 9 月 18 日に第 12 回 VMTH 公開セミナーが開催されました。田川道人先生が「リンパ腫治療をやさしく深く! 長生きさせるベストプラクティス」と題し、リンパ腫に対する効果的な治療法をわかりやすく解説しました。また、小林宏祐先生からは「膵臓外分泌腺癌に伴う被嚢性腹膜硬化症を認めた猫の 1 例」について報告があり、希少な症例に基づく臨床的な知見が共有されました。セミナーには 33 名が参加し、熱心に聴講されていました。(清水夕貴)



新入教職員紹介 佐藤愛実 研修獣医師 (AiCVIM レジデント)

7 月から AiCVIM 小動物内科レジデントとして勤務しています。医師免許も取得しましたが、猫に魅了され、獣医師の道を選択。現在、アジア獣医内科専門医を目指し、邁進中です。専門性の高さだけでなく、キャットフレンドリーな診療を通じて猫とご家族を幸せにできる医療を目指しています! 猫以外の趣味は食べ歩き。特にラーメン巡りを楽しんでいます。おすすめのラーメン屋さんがあれば、ぜひ教えてください。



コラム 1 船長 和田の釣り日誌 #12

2024 年 8 月 11 日、土佐湾の黒潮牧場ブイ付近。入れ食いの噂を聞き、尊敬する村越正海プロ提唱のエビングとお気に入りのロッドでカツオを狙います。カツオ釣りが苦手な上に、これまでのゲストはビンタばかり。しかし一投目から強烈なアタリ! ロッドが海面に突き刺さり、歯を食いしばって引き上げたのは、なんと 10 キロ以上のキメジ。重さにどや顔が引きつりましたが、大満足です。(ビンタ→キメジ→キハダマグロ) (船長 和田<愛玩動物看護師長>)



VMTH の診療 軟部組織外科

では、鼻の頭からしっぽの先まで、先天性疾患から腫瘍など、様々な手術を担当します。超音波凝固切開装置や鏡視下手術システム(腹腔鏡)、近赤外カラーカメラシステム、排煙機能付き高周波手術装置など、患者にも従事者にも優しい最新機器を導入しています。その一方で、まずはベーシックな鋼製器具(写真)での術前計画と解剖学的知識に沿った丁寧な執刀を心がけています。内科、画像診断科、麻酔科、愛玩動物看護科などと連携しながら、個々の症例に合わせた診断と手術、そして周術期管理を行います。(佐伯亘平)



VMTH Case Report



ワンちゃんの毛が抜けてしまう原因は様々ありますが、今回は腫瘍によって脱毛した症例の紹介です。フサフサした毛が自慢のロングコートチワワくん(12 歳、オス)が顔以外の左右対称性の脱毛、右精巣の腫大、左精巣の萎縮を主訴に来院しました。高齢犬の精巣で生じる精巣腫瘍のひとつであるセル

トリ細胞腫は、雌性ホルモンであるエストロゲンを出し、脱毛をはじめ、反対側の精巣の萎縮や貧血などを起こします。腫瘍化した精巣を摘出することで脱毛は改善し、数か月の時間をかけつつも元のフサフサな姿に戻りました。(水谷真也)

OUS-VET Article 清水 夕貴, 佐伯 香織, 川田 修司, 他:動物用金属製ケージにおけるポリエチレン製マットの保温効果. Veterinary Nursing, 29 (1), pp. N1-N5, 2024. 動物病院で使用される金属製ケージは、動物に不快感や体温低下をもたらす可能性があります。本研究では、金属製ケージに敷いたポリエチレン製マットの保温効果について検討し、タオルと同等の効果を有することが明らかとなりました。ケージ内の床敷の選択は、動物看護において重要な要素の一つです。各素材の特性を十分に理解し、動物の状態に応じて適切に選択することで、より快適で安全な環境を提供していくことを目指しています。(清水夕貴)

表1 ペットシートおよびホットパクの表面温度

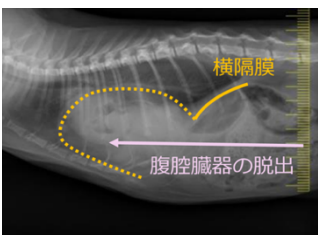
項目	実験群	測定時間												
		T0	T5	T10	T15	T20	T25	T30	T45	T60	T75	T90	T105	T120
PetS (°C)	対照群	21.1±0.8	20.9±0.5	21.1±0.5	21.3±0.7	21.3±0.6	21.0±0.6	21.0±0.7	20.9±0.8	20.8±0.7	20.5±0.8	20.5±0.7	20.4±0.9	20.4±0.7
	タオル群	21.1±0.9	21.0±0.7	20.6±0.4	20.5±0.7	20.7±0.8	20.8±0.7	20.5±0.7	20.8±1.0	20.4±0.8	20.4±0.7	20.3±0.6	20.0±1.2	20.3±0.8
	マット群	21.2±0.5	21.0±0.4	20.9±0.6	21.1±0.8	21.2±0.3	21.1±0.4	21.1±0.6	21.5±0.4	20.9±0.6	21.0±0.4	20.7±0.5	20.9±0.4	20.9±0.4
HoIP (°C)	対照群	40.2±0.3	38.1±0.2	36.6±0.3	35.6±0.3	34.5±0.2	33.3±0.3	32.5±0.2	30.1±0.4	27.9±0.6	26.3±0.6	25.3±0.5	24.1±0.6	23.4±0.5
	タオル群	40.6±0.3	38.9±0.3	37.2±0.2	36.1±0.5	35.2±0.6	34.3±0.7	33.4±0.6	31.2±0.8	29.1±0.9	27.6±0.9	26.4±0.8	25.0±0.9	23.3±0.9
	マット群	40.8±0.3	39.0±0.4	37.6±0.4	36.7±0.5	35.6±0.6	34.8±0.4	34.0±0.7	31.9±0.4	29.9±0.5	28.2±0.5	27.1±0.4	25.9±0.2	25.0±0.2

コラム2 動物がん研究者のスイーツリサーチ #7

厳しい残暑を乗り越え、季節はあっという間に秋。そんな秋の夜長に、今治に新たにオープンした“おやつやさん”のシフォンケーキとコーヒーブランジェはいかが。甘さ控えめで保存料なし。安心して楽しめるお味です。シフォンケーキのきめ細やかな気泡はガスコンドロップ*でも消えない柔らかなくちどけです。*消化管内の気泡を消すための液体 (田川道人)



外科診療科の表と裏



このボニートくん(Bonito、「鯉」の意、本名)、金物屋の飼い主さんが鉋(カンナ)で鯉節を試し削りしていたら、匂いに誘われて来て住み着いたそう。のちに、その鉋刃が有名な賞を受賞！なんとも引き猫なボニートくんは、1年半たった今、元気に太っているんだとさ。(佐伯亘平・飼い主様の許可を得て掲載)

VMTH の愛玩動物看護師 12 歳の愛犬が口腔内



メラノーマと肺転移の診断を受けました。今は缶詰フードを団子状にするとよく食べ、病気を感ぜさせないほど元気に過ごしています。今後は穏やかに過ごせるようターミナルケアを選びました。愛犬の病気を通じて、動物が不自由なく日常生活を送るためのサポートをするのは勿論のこと、家族と一緒に

過ごすことの重要性を改めて感じています。(正林美和)

コラム3 愛媛のお酒 #11

秋の深まりが待ち遠しいこの頃、戻りガツオとともに「日本心(やまごころ) 純米大吟醸」(西条市・武田酒造)を味わってみた。ひと口含めば、すっきり上品な口当たり、後からふわりと漂う豊かな香りと余韻が続く。脂がのった秋ガツオの濃厚さを、程よい酸味としなやかな風味で絶妙に引き立て、季節の移ろいを感じさせてくれる一杯です。(齋藤文代)



産業動物診療科だより 9月の日本獣医学会で、産業動物診療科における研究成果を発表しました。



本研究では、初産牛の泌乳初期の乳質に注目し、牛群全体への影響を分析。その結果、初産牛の乳質が悪化すると、牛群全体の乳質も低下し、乳量が減少、死亡率が上昇することを報告しました。このことは、初産牛の乳質改善を目指した飼養管理の質の向上が、牛群全体の乳生産性向上と死亡率低下に

繋がることを示唆しています。産業動物診療科では、この成果を通じて、生産者にとってより有益な提言を行っていききたいと思います。(後藤 聡)

VMTH の診療機器 「尿が出ない！」そんな時には

血液透析の出番です！VMTH では小動物用の血液透析器装置(NCU-A、リーフインターナショナル)を導入しています。急性腎不全では腎臓で尿が作れず、体内の毒素を排泄できなくなり、命の危険にさらされることがあります。そんな時は、血液透析によって腎臓の機能を補い、腎機能が回復するまでの時間を稼ぎます。血液透析は最後の砦。活躍しないのが一番ですが、いざというときには頼れる存在です。



(三河翔馬)

奇想天外な美しさを持つカ
ツオノエボシというクラゲは、
秋の季語。現実には鳴かない
が、俳句の世界では「亀鳴く
(春)」「みみず鳴く(秋)」
のように、想像の中で虚構を
楽しむ。鰻の造語であるが、
「鰻」は本日の造語であるが、
「鰻」はまたよし。鰻やみみず
と鳴く、ややシリアスに「ひ
と鳴く」のである。その遠く
は、長大な命を終えた「星の死
が神秘的に現象し、摩訶不思議
な鳴き声と共に鳴いて、相互の
力によって引きあっている。

星の死や
ひしと鰻の烏帽子鳴く

コラム4 #2
俳壺逍遥遊 森川和

編集のつぶやき

・いよいよ、夏と秋の区別がつかなくなってきました。気候変動が心配です。TSです。News Letter#12をお届けします。
・VMTH では、研修獣医師の小西健太先生、五田嘉倫先生が退職され、新たに AiCVIM のレジデントとして佐藤愛実先生を迎えました。(TS)

岡山理科大学獣医学教育病院
〒794-8555 今治市いこいの丘1-3
TEL: 0898-52-9001, FAX: 0898-52-9211
E-メール: vmth@vet.ous.ac.jp
URL: https://www.vmth.ous.ac.jp